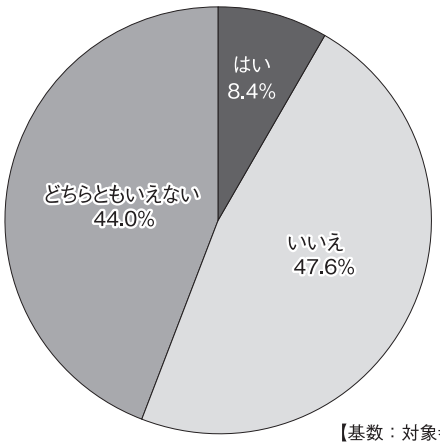
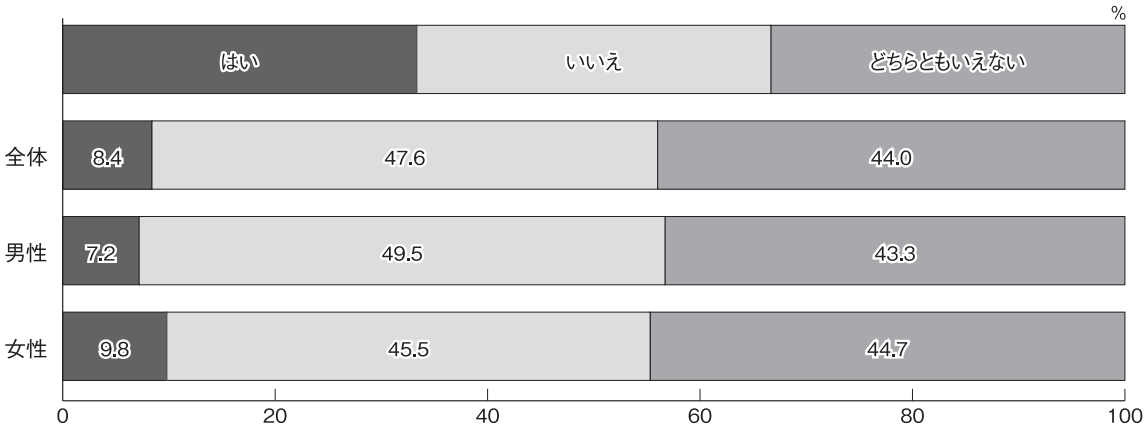
相談室の利用可能性

問9-15 あなたは、相談室や相談員の存在を知っていれば、利用していたと思いますか？



【基数：対象者全員】

〔性別〕



【基数：対象者全員】

相談室の利用には消極的

相談室や相談員の存在を知っていれば、利用していたと思うかどうか調査したところ、利用すると答えた学生は全体のわずか8.4%であった。

問９-１～問９-９とのクロス集計で比較すると、「はい」と答えた学生の割合は問９-４の人生観について悩みを持っている学生（悩んでいる、少し悩んでいるを選択した学生）が13.2%で、その他の悩みを持っている学生の平均7.0%に比べて高かった。

相談室の存在を知っていても利用は消極的であることが調査結果からみてとれるが、問９-10で多くの学生が家族・友人を相談相手に選んでいる結果からも、自身の悩みや不安について相談員に相談する前に、身近な存在に相談することで悩みが解消できているのではないかとも捉えられる。

しかしながら、専門的知識を要する相談や身近な存在に相談しにくいプライバシーに関する相談がある場合は、学生相談室の利用を願いたい。また、本学としては、学生の学生相談室利用の敷居がより低くなるよう、環境面の充実を図る必要があるだろう。